



# GLOBAL INFO

公益財団法人 豊田市国際交流協会情報誌

NO. 29

2014. 2. 1

## TIA国際理解教育セミナー「五感で学ぶフェアトレード」を開催しました！



フェアトレード商品に  
つけられている認証ラベル

®

12月7日（土）、静岡市で  
フェアトレードショップを  
営む今井奈保子さんを講師  
に招き、フェアトレードに  
ついて学ぶセミナーを開催  
しました。

青年海外協力隊の村落開  
発普及員としてのスリラン  
カでの活動をきっかけに約  
20年海外で活動されてきた  
という今井さんは、商品の  
生産者に適正な労働環境や

教育を受ける機会をもたらし、地球環境にも優しい「フェア  
トレード<sup>※1</sup>」について、実体験を交えてわかりやすく説明し  
てくれました。インドの生産者組合とスカイプ<sup>※2</sup>で話す場面  
では、画面の向こうの女性たちが生き生きした笑顔で「フェ  
アトレードをこれからも応援してください。」と何度も言つ  
ていたのが印象的でした。

後半のワークショップでは、フェアトレードの紅茶と6種  
類のスパイスを使ってのマサラチャイ（スパイス入りのチャ  
イ）作り。参加した皆さんには、スパイスの芳しい香りが立ち  
込める中、それぞれの用途・効用などの説明を聞きながら、  
思い思いのオリジナルブレンドチャイを作っていました。

フェアトレードのキャッチフレーズは「お買い物ができる  
国際協力」。取引されているのはお菓子や果物などの食品や  
手工芸品など私たちに身近な物が主流です。値段は少し高め  
ですが、適正な環境下で丁寧に作られた商品にはそれだけの  
価値があります。今回のセミナーで私たちは、買い物をする  
際フェアトレード商品を選ぶことが現地の生産者を支え、持  
続可能な社会を作ることにつながっていることを学びました。

「選択肢のひとつとしてフェアトレード商品を手に取って  
もらえるように、もっと市場を広げていきたい」と言う今井  
さん。今はまだ一部でしか見かけないフェアトレード商品を  
スーパー や コーヒーショップなどで普通に見かけるようにな  
れば、その確かな品質にフェアトレード商品を選ぶ人も増え  
ていくことでしょう。

\*1 フェアトレード：開発途上国の原料や製品を適正な価格で  
継続的に購入することにより、立場の弱い途上国の生産者  
や労働者の生活改善と自立をめざす貿易の仕組み

\*2 スカイプ：インターネット回線を使って相手の顔を見ながら  
話せる通話サービス



講師の今井さんによるワークショップ



フェアトレード商品の例 お菓子や手工芸品など



「これは誰が作った商品ですか？」スカイプで生産者に話しかける講師



フェアトレードショップ「アナム」にも協力してもらいました

## 豊田市のフェアトレードのお店を紹介

anam fair-trad&natural(アナム フェアトレード アンド ナチュラル)

〒471-0024 豊田市元城町2丁目2-2

Tel&Fax 0565-63-5639 HP <http://anamu.sakura.ne.jp>

153号線から一本入った静かな通りに、2012年夏にオープンしたフェアトレードショップanamはあります。倉庫だった建物に貨物コンテナをつなげたとはとても想像できない、かわいらしくナチュラルな店構えが暖かな空間を作り出しています。店名の「anam」は協力者の方の名前のイニシャルをつなげたものだそうです。

オーナーは稻熊なつみさん。販売の仕事に携わる中で、自分が扱う商品は誰が作っているのだろう、という素朴な疑問がきっかけ。同じ頃フェアトレードにも出会い、国際交流にも興味があったこともあり、フェアトレードのイベントに参加したり、タイを訪問したりする中で、「これをやりたい!」と、かつての疑問が新たなライフワークへとつながったそうです。

知名度の低いフェアトレードを、人ととのつながりの中で広めていきたい、つながりを大切にしている人たちが集い、途上国の商品の生産者のことが身近に感じられるスペースを作りたい、という思いがanamには込められています。

バレンタインも間近な今の時期のおすすめは、チョコレート

ト!ボリビアやフィリピンのフェアトレード認証の原材料を使い丁寧に作られています。また、セーターなどのニット類も人気があります。大量生産はできないけれどネパールやアンデスのウールを使った商品の先に生産者の笑顔が見える、体も心も温まる商品です。生産者も購入者も関わる人すべての人に幸せが循環していく「ハッピーサイクル」がそこにあると稻熊さんは言います。

オープンして約1年半、口コミでお客さんは増えているとのことですが、小規模なフェアトレードの店が安定した経営基盤を築くのは難しく、anamも例外ではありません。「お買い物でできる国際協力」に興味を持たれた方は、一度お店のぞいてみて下さい。作り手の姿を稻熊さんが丁寧に説明してくれますよ。



お店の外観もすべて手作りです

## TIA最新トピック

## TIA New Topic

### 「豊田市・ダービーシャー県等姉妹都市提携15周年記念」を振り返る

平成25年度は、豊田市と姉妹都市ダービーシャー県等（ダービーシャー県・ダービーシャー特別市・南ダービーシャー市）の姉妹都市提携15周年の記念の年でした。市内で様々なイベント等が開催されましたが、TIAでも関連記念事業を行いましたので紹介します。

#### ○国際の日—市国際課による姉妹都市提携15周年記念ブース

10月5日（土）、6日（日）に開催された「国際の日」交流イベントでは、市国際課のブースを設け、姉妹都市提携15周年記念についてやダービーシャーのPRに協力しました。会場ではパネルやパンフレットを展示し、ダービーシャーの産業や観光のPRを行いました。特に観光の最大の魅力である自然公園を紹介した大きなパネルはとても印象的でした。ポストカード等の配布も行い、来場者にダービーシャーの魅力が伝わったのではないでしょうか。



#### ○ドキドキの陶芸初体験! (外国人のための陶芸体験教室)

姉妹都市提携15周年と豊田市民芸館開館30周年を記念して、英国人陶芸家バーナード・リーチの特別展が開催されました。それに合わせて11月16日（土）に民芸館と共に、外国人市民を対象とした『陶芸体験教室』をTIAで実施し、18人の参加者がオリジナルな作品づくりにチャレンジしました。



参加者はブラジルと中国の出身で、主にTIAの日本語教室に通っている学習者の皆さんやそのご家族。陶芸はもとより粘土に触れるのも初めて、という人もいてやや緊張気味でした。しかし、慣れてくると、出来上がりのイメージを膨らませながら、彫絵にも熱心に取り組んでいました。中には、余った粘土を集めて複数の作品を仕上げた参加者も。作品は一度乾かして、窯で焼いた後、完成となります。自分だけのお皿の出来上がりが楽しみです。



#### ○豊田理事長が公式訪問団として、ダービーシャーでの姉妹都市提携式典に参加

11月15日から22日まで、豊田市長を中心とした公式訪問団の一員として、豊田理事長が英国を訪れました。県庁で開催された記念式典では、豊田市とダービーシャーの交流が互いの文化・教育・産業・環境にとって有益なものになるよう協力し、友情と理解を深めていく旨の覚書をダービーシャー県等の代表者と交わしました。式典への参加の他、トヨタ自動車バーナストン工場、ダービー日本人補習校等を視察しました。

## ○ナショナルデー

11月30日「英国」(豊田市少年少女合唱団)

今夏、姉妹都市提携15周年を記念し、豊田市少年少女合唱団が親善使節団としてダービーシャーを訪問、現地の方々と交流を深めました。その様子を映像を用いて日本語と英語で発表し、また、現地で披露した素晴らしい歌唱力は、ナショナルデーでも参加者を魅了しました。曲目の中には猫の仕草を織り交ぜたコミカルでかわいい演出もあり、会場が感動と笑顔で包まれました。ダービーシャーからの公式訪問団の方々も来場し、参加者とともに楽しんでいる様子でした。



12月8日「英国」(豊田市ジュニアオーケストラ)

姉妹都市提携15周年の締めくくりは、豊田市ジュニアオーケストラ(TJO)による「イギリス音楽とともに過ごすクリスマス」。

林俊昭先生率いるTJOの選抜メンバーが、ジュニアとは思えない本格的な演奏で、イギリスゆかりの名曲を披露してくれました。楽器のパートごとに演奏を聴いたり、先生の英国滞在時のお話をうかがったりと、ナショナルデーならではの趣向もあり、お越しいただいた多くの参加者とともに、優雅で和やかなひとときを過ごすことができました。



## にほんごひろば交流会「餅つき大会」を開催しました



ボランティアの力を借り進めた準備



「よいしょっ!」子どもも大人も楽しみました

12月21日(土)、にほんごひろば受講生やその家族・友人、講師やボランティアの皆さんが出でて餅つきを行いました。

ボランティアのご厚意で臼や杵などの餅つき道具一式を借り、経験豊富なアドバイスのもと、餅つきを始めました。寒い日なので味噌汁や餅につけるあんこやきな粉を準備したり、餅米の蒸しあがるタイミングで道具を揃えたりなど、様々なボランティアの協力でスムーズに進めることができました。

昼頃、受講生も集まり、いよいよ餅つきが始まりました。餅を食べたり、餅をつく様子をカメラに収めたり、子どもも大人もそれぞれ楽しく過ごすことができました。講師やボランティアとも受講生が談笑し、お互いの距離がさらに近くなった機会でした。時折小雨の混じる寒い曇天の日でしたが、参加された皆さんにとって忘れられない日本の冬の思い出になったことでしょう。

意外なことに、外国人の皆さんは臼と杵を使った餅つきに慣れているようです。自分の住んでいる地域で餅つき行事があると、外国人だから経験してごらん、と積極的に声をかけられたり、配偶者の日本人家庭の習慣で教わったといつた声が聞かれました。外国人の皆さんのがそれだけいろいろな場面で地域に溶け込んでいるということを知り驚きました。

## インフォメーション

## Information

### 〈日本語教室のご案内〉

お知り合いの外国人住民の方にお知らせください！

\* TIAにほんごひろばの申込はTIAまで。

\* 現在開講中の教室については、空き状況をTIAまでお問い合わせください。

\* 2014年4月以降のクラスは、開講時間や内容が変更になる可能性があります。

#### ●TIAにほんごひろば入門【会話クラス】

内 容) 講師・ボランティアと交流しながら日本語を学習

日 時) 開講中～3月21日 毎週金曜日

午後1時半～3時または午後6時半～8時

#### ●TIAにほんごひろば入門【読み・書きクラス】

内 容) 講師・ボランティアと交流しながら日本語を学習

日 時) 開講中～3月20日 毎週木曜日

午後6時半～8時 ※夜間のみ開講

#### ●TIAにほんごひろば入門【総合クラス】

内 容) 講師・ボランティアと交流しながら日本語を学習

日 時) 開講中～3月20日 毎週木曜日

午後1時半～3時または午後6時半～8時

#### ●日本語サロン

内 容) TIAボランティアグループによる受講者のレベルに応じた授業

日 時) 開講中～3月12日 每週水曜日 午前10時～12時

受講料) 1,000円

レベル) 入門～上級クラス

申込み) 直接グループへ

その他) 小さい子どもさんと一緒にでも可

#### ●ALPHA日本語教室

内 容) TIAボランティアグループによる受講者のレベルに応じた授業

日 時) 開講中～4月13日 每週日曜日

午前10時半～12時半

受講料) 1,500円／期 (テキスト代別)

レベル) 入門～上級クラス

申込み) 直接グループへ

#### 〈ナショナルデー〉

世界のいろいろな国の文化や生活などを紹介します。

申込不要、参加費無料。当日直接TIAへお越し下さい。

2月2日 中国、2月23日 UAE、3月9日 マラウイ、3月16日 ネパール

## <フィリピン台風被害への募金結果の報告>

TIAでは、台風30号により被災されたフィリピンの方々への募金を行いましたところ、15,000円が集まりました。皆様からのご協力に心より感謝いたします。今回の募金は、地元名古屋で活動をしている特定非営利活動法人アジア日本相互交流センター・ICANを通じて現地の支援に役立てていただきます。



## <2014年度ボランティア登録のお願い>

TIAでのボランティア活動にはボランティア登録が必要です。3月1日(土)より2014年度のボランティア登録の更新を受け付けます。ボランティア登録用紙に必要事項をご記入の上、年間登録料500円を添えてTIA窓口までお越し下さい。

## <賛助会員制度のご案内と更新のお願い>

現在2014年度賛助会員の申込・更新を受け付けています。多くの皆様にご賛助いただければ幸いです。詳細はTIA窓口までお問い合わせください。

年会費 個人:一口1,000円(一口以上)

法人・団体:一口10,000円(一口以上)

## <賛助いただき、ありがとうございました>

(法人・団体会員のみ、受付順:2013年10月~2014年1月末受付分)

(株)ジースエレテック、大豊工業(株)、トリニティ工業(株)、豊田鉄工(株)(敬称略)

## 多文化の窓

## Meet The World

### ボランティアグループ紹介

TIAでは、現在11のボランティアグループが活動していますが、今年度新たに2つのグループがTIAで活動をはじめました。グローバルインフォ27号で紹介した「日本語教室CSN」に引き続き「希望の光」を紹介します。

#### 『希望の光』(ポルトガル語母語保持教育 活動日:土曜日14:00~17:00)

##### 『子どもたちの将来に光を!』

希望の光は、ブラジルにルーツを持つ子どもたちを対象にブラジルの公用語であるポルトガル語の母語保持教育を行っているグループです。母語保持教育とは、日本生まれ、もしくは年齢の小さいうちに来日し、学校など日本語の環境の中で育っているため、母語でのコミュニケーションが難しい子どもたちに対し、彼らの母語ポルトガル語を尊重し、自由にポルトガル語を話すことができ、子どもたちのポルトガル語能力を保持・促進し、かつブラジルについて学ぶことのできる場を提供していくことです。

設立から3年になる希望の光には、現在、年長から中学生成までの子どもたちが通っています。活動を始めるきっかけは、知り合いのブラジル人からの相談でした。「ポルトガル語やブラジルのことを学んでほしいが、ブラジル人学校の学費は高く、また日本の学校に通っているためポルトガル語を学ぶ時間がない」という親たちの想いでした。「ブラ

ジルにいつか帰るかもしれない」「遊びに行った時のために」というのも母語を忘れてほしくない理由だそうです。

TIAで活動を始めたことで、ポルトガル語の学習を必要とする子どもたちが多いにも関わらず、勉強のための場所がないという悩みが解消されたそうです。しかし、ポルトガル語の教材をブラジルから取り寄せなくてはいけなかったり、日々忙しい子どもたちの学習時間が限られていることも解決しなければならない課題だそうです。

取材に同席していた中学生が、希望の光でポルトガル語を学ぶようになってから、親とのコミュニケーションが密にとれるようになったと嬉しそうに話す姿が印象的でした。



ホワイトボードでクラスを区切って勉強します



### 編集後記

お金や才能、などなど、自分には無いものばかりだと落ち込んだりしませんか?そんなときに少し冷静になつて、いや、これも有った、こんなのも有るじゃない、と考えてみると、すると、自分は不幸では決してない、と思えたりもする。それでもまた少し経つと、あれも、これも無いと、満足するまで努力!ですか? (S)

